

2005年2月2日

平成17年3月期 第3四半期財務・業績の概況(連結)

上場会社名 いすゞ自動車株式会社 上場取引所 東京証券取引所
コード番号 7202 本社所在都道府県 東京都

(URL <https://www.isuzu.co.jp/investor/index.html>)

取締役社長 井田義則
代 表 者 総務人事部 グループリーダー
問合せ先責任者 一 甲山博敏 TEL (03) 5471 - 1141

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

(1) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

(内容)

中間(連結)財務諸表の作成基準をベースにしつつ、税金費用の計算、減価償却費の計上、実地棚卸の省略など、一定の簡便な手続を採用している。

(2) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

(3) 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有

(内容)

連結(新規) 1社 持分法(除外) 3社

2. 平成17年3月期第3四半期財務・業績の概況(平成16年4月1日～平成16年12月31日)

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(百万円未満切り捨て)

項目	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期) 純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成17年3月期第3四半期	1,082,126	1.6	64,208	8.9	68,391	18.7	51,060	-
平成16年3月期第3四半期	1,064,756	11.3	58,957	-	57,625	-	-	-

(参考)平成16年3月期	1,430,339 6.0	84,490 446.4	81,678	-	54,713	-
--------------	---------------	--------------	--------	---	--------	---

項目	1株当たり四 半期 (当期)純利益	潜在株式調整 後 1株当たり四 半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
平成17年3月期第3四半期	55.16	21.48
平成16年3月期第3四半期	-	-
(参考)平成16年3月期	72.37	20.90

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示す。

(参考) 経営成績(単体)の進捗状況

項目	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期) 純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
平成17年3月期第3四半期	638,166	△ 4.7	47,038	△ 8.1	43,024	△ 3.7	32,950	-
平成16年3月期第3四半期	669,291	24.7	51,211	-	44,660	-	-	-
(参考)平成16年3月期	890,336	17.1	66,695	410.3	57,561	1,079.4	38,857	-

項目	1株当たり四 半期 (当期)純利益	潜在株式調整 後 1株当たり四 半期 (当期)純利益
	円 銭	円 銭
平成17年3月期第3四半期	35.59	13.86
平成16年3月期第3四半期	-	-
(参考)平成16年3月期	51.28	14.83

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示す。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

当第3四半期において、国内市場については、一昨年来のトラックの排ガス規制強化に伴う首都圏の需要増が一巡したため全需は減少し、販売台数は前年同期比 13,966 台の減少、売上高は同 259 億円の減収となりました。

海外市場については、タイ生産ピックアップトラックの販売増、北米小型トラックの販売増、および中国向け海外生産用部品の出荷増により、販売台数は 34,469 台の増加、売上高は 432 億円の増収となりました。

以上の結果、当第3四半期における売上高は 1 兆 821 億円(前年同期比 1.6%増)、営業利益は 642 億円(前年同期比 8.9%増)、経常利益は 683 億円(前年同期比 18.7%増)、四半期純利益は 510 億円となっております。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

(百万円未満切り捨て)

項目	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
平成17年3月期第3四半期	1,230,223 百万円	189,140 百万円	15.4%	89.53 円 銭
(参考)平成16年3月期	1,077,816	109,753	10.2	11.12

(参考) 財政状態(単体)の変動状況

項目	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
平成17年3月期第3四半期	890,423 百万円	213,240 百万円	23.9%	113.72 円 銭
(参考)平成16年3月期	808,674	151,722	18.8	58.94

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

当第3四半期末における資本の部は、前連結会計年度末に比べて 793 億円増加の 1,891 億円となりました。これは、主に当四半期純利益の 510 億円に加えて、新株引受権付社債について 290 億円の権利行使がなされたことによるものです。

また有利子負債(除く新株引受権付社債)は、前連結会計年度末に比べて 268 億円減少の

4,199 億円となり、引き続き削減を進めております。

なお、平成 16 年 12 月 22 日に開催された臨時株主総会において、II 種優先株式の強制有償消却による資本の減少及び資本の欠損填補に充当する資本準備金の減少が決議されました。この結果、この間の新株引受権付社債の転換と併せ、平成 17 年 1 月 28 日付の単体の新資本金は 285 億円、資本準備金は 379 億円となっております。

[参考] 平成 17 年 3 月期の連結業績予想(平成 16 年 4 月 1 日～ 平成 17 年 3 月 31 日)

平成 16 年 11 月 18 日公表の「平成 17 年 3 月期の連結業績予想」からの変更はありません。